

文部科学省後援 書写技能審査

令和〇年度第〇回 令和〇年〇月〇日（日）実施

毛筆書写技能検定

毛筆書写技能検定
3級

試験問題

A
日程

80分

〔注意事項〕

1. 受験する級の問題冊子であるか確認してください。
2. 試験監督の指示があるまで問題冊子を開かないでください。
3. 問題内容に関する質問は一切受けつけません。
4. 携帯電話等の電子機器は必ず電源を切り、絶対に使用しないでください。
5. 不正行為をした場合は、答案は無効となります。
6. 答案は各問題につき1枚のみ提出してください。
7. 受験票と受験に必要な用具以外はすべてしまってください。
8. 墨の色や濃さを確認するために自分の半紙を1枚出しておいても構いません。
9. 罫線付きの下敷きを使用しても構いませんが、自作の下敷きは使用できません。
10. 洗濯して落ちる墨や、筆ペンは使用できません。

【マークシートの記入】

- ・マークシートの記入には必ずBかHBの鉛筆を使用してください。受験地番号・受験番号の記入に不備がある場合無効となります。
- ・マークシートの試験日程欄は、「A」を○で囲って提出してください。

【受験地番号・受験番号の記入】

受験地番号・受験番号は、この表紙・実技解答用紙（半紙）・マークシート用紙に、受験票に記載されている番号を正確に記入してください。

【準登録（片方合格）の手続き】

準登録（片方合格）の方は、該当科目を必ず白紙で提出し、理論免除の方はマークシート用紙の「理論免除」欄をマークして提出してください。

【受験地番号・受験番号記入欄】

| 受験地番号 | | | | 受験番号 | | | |
|-------|--|--|--|------|---|---|--|
| | | | | M | 0 | 3 | |

受験地番号は左づめに記入すること。

実技答案（半紙）は、左下に受験地番号・受験番号を記入してください。

半紙

| 第1問 | 第2問 | 第3問 | 第4問 | 第5問 | 第6問 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 点 | 点 | 点 | 点 | 点 | 点 |

【不許複製】

この試験問題の複製（コピー）を禁じます。また、この試験問題およびその内容を当協会の許可なく他に伝える行為や、漏えい（インターネット上に掲載することを含みます）することを固く禁じます。

実技問題

第1問 つぎの漢字四字を、楷書で別紙（半紙）に縦書きで書きなさい。

共生社会

第2問 つぎの漢字四字を、行書で別紙（半紙）に縦書きで書きなさい。

共生社会

第3問 つぎの平仮名四字を、別紙（半紙）に書きなさい（連綿で書かないこと）。

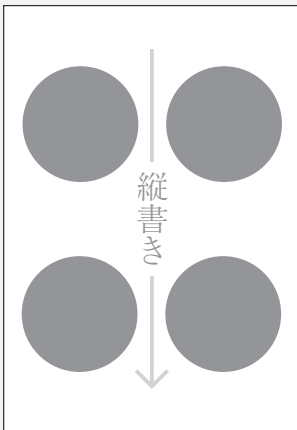
(注) 連綿とは二字以上を見える線です。

なでしこ

第4問 つぎの片仮名四字を、別紙（半紙）に書きなさい。

パソコン

第1問～第4問の書き方



第5問

つぎのわく内の文を、別紙（半紙）を縦長にして三行に書きなさい（漢字は行書で書くこと。かなは連綿で書かないこと。字配りは課題とちがってもよく、句読点はうたないこと）。

梅雨が去ると本格的な

夏の暑さがくる

七月

第6問

つぎのわく内の掲示文を、別紙（半紙）に縦書きで二行に体裁よく書きなさい（漢字は楷書、または楷書に近い行書で書いてもよい）。

漢字の読み方を学ぼう

第5問・第6問の
紙の向きと使い方

縦書き

理論問題

〈理論問題の答えは、マークシート用紙に記入すること。〉

第7問 つぎの漢字の部分(へん・や・つ・くりなど)の名称を、下の①～⑮の中から選び、その番号を塗りつぶしなさい。

| | | | | |
|----|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 宀 | 阝 | 弓 | 冫 | 方 |
| 10 | 9 | 8 | 7 | 6 |
| 門 | 灬 | 彳 | 斤 | 忄 |

- ① おおざと
- ② れつか
- ③ がんたれ
- ④ まだれ
- ⑤ おおがい
- ⑥ もんがまえ
- ⑦ ほうへん
- ⑧ したごころ
- ⑨ ゆみへん
- ⑩ こざとへん
- ⑪ ぎょうにんべん
- ⑫ ふしづくり
- ⑬ りっしんべん
- ⑭ きんべん
- ⑮ るまた

第8問

つぎに示した漢字の筆順のうち、正しいものには○の方の欄を、よくないものには×の方の欄を、塗りつぶさない。

1

興
イ 𠄎 印 冏 冏 興

6

万 一 丌 万

2

装
ン ヌ 𠄎 𠄎 𠄎 装

7

荷 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 荷

3

俳
イ 𠄎 𠄎 𠄎 俳

8

乗 二 𠄎 𠄎 𠄎 乗

4

卵
𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 卵

9

進
イ 𠄎 𠄎 𠄎 進

5

歴
𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 歴

10

着 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 着

第9問

つぎに書かれた文のうち、傍線部の文字を、楷書にしたものはどれか、左の①～⑳の中から一つ選び、その番号を塗りつぶしなさい。

短歌も俳句も、ともに五音と七音の組合
わせによる、日本特有の短詩です。四季の
味わい、自然の美しさを表現してきま
した。

- | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| ① 絶句 | ② 特有 | ③ 自然 | ④ 四季 | ⑤ 天然 | ⑥ 持 | ⑦ 着眼 |
| ⑧ 表現 | ⑨ 季節 | ⑩ 徳育 | ⑪ 彩句 | ⑫ 日本 | ⑬ 俳句 | ⑭ 短歌 |
| ⑮ 日刊 | ⑯ 美 | ⑰ 組 | ⑱ 唄 | ⑲ 詩 | ⑳ 契 | |

第10問

つぎの20字の漢字について、常用漢字の字体から見て正しいものには○の方の欄を、よくないものには×の方の欄を、塗りつぶしなさい。

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 池 | 部 | 明 | 圈 | 陽 |
| 10 | 9 | 8 | 7 | 6 |
| 馱 | 動 | 広 | 舎 | 首 |
| 15 | 14 | 13 | 12 | 11 |
| 説 | 照 | 鉄 | 都 | 電 |
| 20 | 19 | 18 | 17 | 16 |
| 関 | 構 | 私 | 西 | 置 |